



ラフレイス

～笑顔あふれる場所～

中学生版

2024年 4・5月号

南島原市深江図書館

☎ 0957-73-6717



ご入学・ご進級おめでとうございます！

新年度がスタートし、新鮮な気持ちで学業や部活など取り組んでいることでしょう。

まずは、この図書館だより『ラフレイス』の紹介を・・・英語の laugh (ラフ・笑う)と、place(プレイス・場所)を、一つの言葉にした

『笑顔あふれる場所』という意味です。毎週金曜日には午後 1 時から、深江中学校の図書室へお手伝いに行きますので、このお便りだけでなく、みなさんとの交流で、笑顔あふれる図書室にしたいと思っています。

さて、今回は新しく買った本とともに、2023 年ヤングアダルト文庫部門でのベストセラーより、おすすめ本を紹介しましたので、ぜひ気分転換に読んでみてはどうでしょう。

新しく買った本

- ・「すべての恋が終わるとしても」
冬野 夜空／著
- ・「春夏秋冬代行者 4 (上・下)」
暁 佳奈／著
- ・「答えは旅の中にある」
小手鞠 るい／著
- ・「朝起きて、君に会えたら」
映瑠／著
- ・「神さま学校の落ちこぼれ 3」
日向 夏／著
- ・「十番様の縁結び 5」
東堂 燦／著

2023年 YA 文庫部門ベストセラー

- ・第3位「52ヘルツのクジラたち」
町田 そのこ／著
- ・第7位「小説 すずめの戸締り」
新海 誠／著
- ・第10位「かがみの孤城」
辻村 深月／著
- ・第20位「あの花が咲く丘で、
君とまた出会えたら」
汐見 夏衛／著



ちよこつと雑学

みなさんは小さい頃、童謡「茶つみ」で、手遊びをした事がありますか？ その歌の中に「八十八夜」という言葉が出てきますね。立春から数えて 88 日目を「八十八夜」といいます。八十八夜に摘んだ新茶を飲むと、病気にならないそうですが、みなさんは毎日緑茶を飲んでますか？

さて、世界にはいろいろなお茶があります。例をあげると、インドやスリランカで作られることで有名な紅茶、中国のウーロン茶など。そういったお茶は、ぜんぶ同じ葉っぱからできているそうですよ。では、なぜ見た目や味が違うのでしょうか。それは、緑茶は、お茶の葉をつんだ後すぐ蒸して、発酵しないように作られたお茶の葉であるのに対して、紅茶はつんできた葉を、生乾きの段階でもんで、酸化させ化学変化が起きるため赤い色になります。ウーロン茶も同じく化学変化を起こさせますが、ある程度ところで化学変化を止めます。葉っぱを発酵させるかないかで、お茶の種類が違ってくるのですね。

今年の八十八夜は 5 月 1 日です。病気にならないように新茶を飲んで、健康で楽しい学校生活をおくりましょう！ 「10歳からの『おいしい』科学」より

*お世話になりました

4 月から布津図書室に異動になりました。とても楽しくお仕事ができました。ありがとうございました。

田中 典子

*はじめまして

4 月から深江図書館に仲間入りした森です。好きな本は「イナバさん！」シリーズです。皆さんに会えるのを楽しみにしています。よろしくお願ひします。

森 由里亜

4、5月の休館日のお知らせ

- ◆4月1、8、15、22、29 (月)と25日の図書整理日
- ◆5月6、13、20、27 (月)と30日の図書整理日

ゴールデンウィーク中も、図書館は通常開館しています。今の自分にぴったりの 1 冊を探しに来てみませんか！？